

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	水道部
部(局)長名	岡本 武

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 6	安定した経営基盤の継続（財政面）
--------	------------------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	多大な費用がかかる水道システムの再構築を進めるため、財政面で の経営基盤の安定を図ります。
---------	--

活動目標
第2期アクションプランを効率的な業務執行のもと、着実に推進します。
水道事業経営審議会からの「答申」に基づき、今後の水道事業と料金のあり方について検討を進めます。
滞納整理業務と検針業務の包括的委託を実施し、料金業務の一層の効率化を図ります。

具体的な取組実績
水道施設の再構築の財源を確保するため、更新時代にふさわしい水道料金に見直ししました。また、大阪広域水道企業団や近隣市との広域的な連携により施設の統廃合の計画を進めています。
第10次水道事業経営審議会へ料金改定の検討の経過や取組状況を報告するとともに審議会からは御意見をいただくなど検討を重ね、料金改定議案提出に至りました。あわせて水道事業の現状や課題を市民の皆さまに知っていただく取組として、出前説明会(計14回)や市民説明会(計6回)を開催しました。
包括的委託導入に向け、検討委員会を設置し、委託業務の効果の検証、業務範囲及び受託者の選定方法などの検討を行い、平成28年1月から実施しています。あわせて新たなサービスとして閉栓時現地精算サービス・高齢者世帯声かけサービス・認知症サポーターの取組を開始しました。



達成目標
平成28年4月料金改定実施に向け、12月定例会に料金改定議案を提出します。
平成28年1月から滞納整理業務と検針業務の包括的委託を実施します。

達成状況	達成度
部内に料金制度等検討委員会作業部会を立ち上げ、1年を越える検討と経営審議会からの御意見を参考に、19年ぶりとなる水道料金の値上げと計算方法を用途別からメーター口径別へ変更する等の料金改定議案を提出しました。	A 達成
予定どおり平成28年1月より、包括的委託を実施しました。それぞれの業務を1つの業者へ委託することで「継ぎ目のないサービス」を提供します。また、職員が行っていた業務も合わせて委託を行い、料金業務の更なる効率化を図りました。	A 達成

総合評価・総括

これからも続く水需要減少時代、施設の本格的な更新の時代に対応した料金体系の検討を進め、市民の皆さまの御理解もいただきながら、これまでの検討結果として平成28年4月から新たな水道料金をスタートさせていただきます。また、これまでも様々な効率化を図ってきましたが、平成27年度はこれまで個々に委託していた検針業務と滞納整理業務を一つの業務として包括的に委託することで効率化を図り、あわせて新たな取組も開始しサービスの向上にも努めました。引き続き水道事業を取り巻く環境の変化や事業の進捗などを注視し、適正な料金水準の検証を続けるとともに、更なる効率化と水道使用者へのサービス向上の取組を進めます。